



2025年9月期第2四半期 決算補足説明資料

2025年5月15日



エグゼクティブサマリ

超過達成

2025/9期2Q累計の利益は想定を既に達成。ただし、これは売上計上タイミングに起因。概ね期初時点の想定通り

予想据置

2025/9期通期は従来見通しを据置き。下期は新增改築案件減少により従来どおりの通期見通しに収束

FCF

FCFは2.1億円のマイナス。一時的な資金負担による営業CFのマイナスに加え、投資CFも業務提携など積極的な出資実行

出資

介護施設等経営支援企業に25%出資。中核事業のビジネス機会拡大に繋がる領域をターゲットに出資・提携を検討



1

2025年9月期2Q決算実績



2025年9月期2Q経営成績①

- 2Q累計決算では対前年6%増収、39%営業増益。主力のメディカルトータルソリューション事業の売上拡大が収益を牽引。遠隔画像診断サービス事業も堅調に推移
- 対通期見通しでは、売上で6割弱の進捗ペース。利益に関しては通期想定を既に達成。ただし、これは売上計上タイミングに起因するもので、概ね期初時点の想定通り

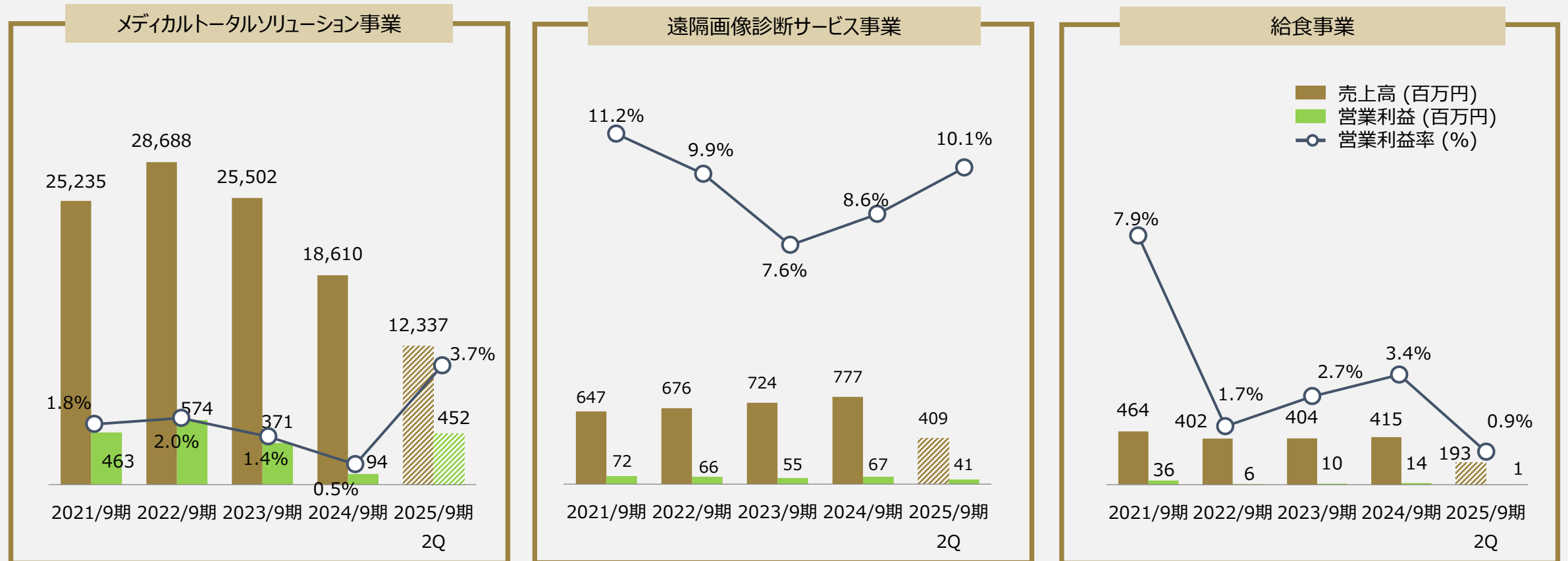
経営成績の推移

(百万円)	2023/9期 2Q実績	2024/9期 2Q実績	2025/9期2Q		2025/9期通期	
			実績	前年同期比 増減率	予想	進捗率
売上高	11,662	12,216	12,940	+5.9%	22,500	57.5%
メディカルトータルソリューション	11,095	11,633	12,337	+6.1%	21,309	57.9%
遠隔画像診断サービス	361	372	409	+10.0%	782	52.4%
給食	205	210	193	▲8.4%	408	47.3%
営業利益	263	357	496	+38.8%	300	165.6%
メディカルトータルソリューション	218	318	452	+42.0%	232	194.9%
遠隔画像診断サービス	39	30	41	+33.9%	65	62.9%
給食	4	7	1	▲76.8%	0	400.4%
調整	1	1	1	+1.3%	1	77.8%
経常利益	249	357	513	+43.5%	300	171.3%
親会社株主に帰属する当期純利益	143	220	344	+56.0%	160	215.2%

セグメント別業績推移

- メディカルトータルソリューション事業は2Qの新增改築案件計上により、売上・利益・利益率とも高い水準に
- 遠隔画像診断サービス事業の利益率は改善基調で推移。顧客増による増収効果が継続
- 給食事業は赤字脱却。コスト上昇を単価引上げで吸収するも、利益率は低水準

経営成績の推移





2025年9月期2Q経営成績②

- 2Q発生ベースでは、対前年、対1Qのいずれも大幅な増収増益。四半期で約100億円の売上というのは一年半ぶり
- 売上水準上昇に伴い、粗利益率も13%超の水準を回復。営業損益は4四半期ぶりの黒字となり、四半期営業利益で上場来最高を更新

経営成績の推移

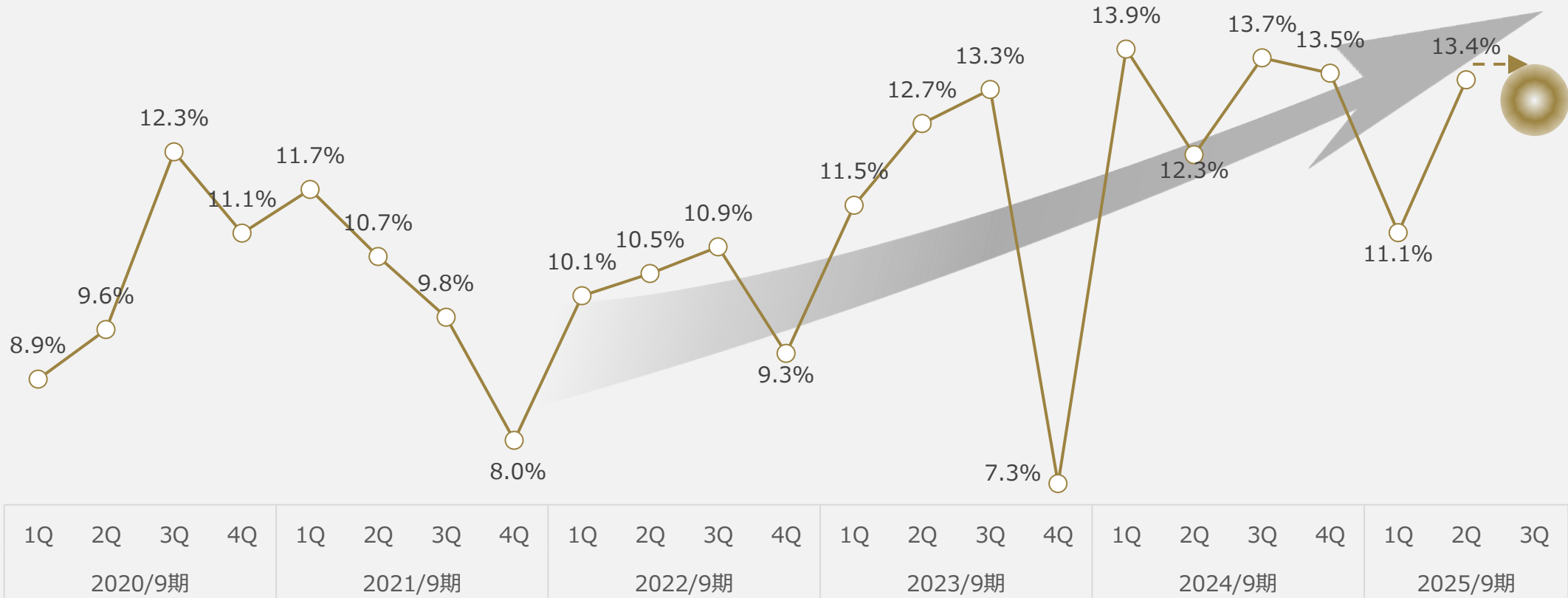
(百万円)	2023/9期				2024/9期				2025/9期	
	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q
売上高	4,936	6,725	5,012	9,957	5,414	6,803	3,496	4,090	3,171	9,769
メディカルトータルソリューション	4,650	6,444	4,733	9,674	5,124	6,509	3,189	3,787	2,871	9,466
遠隔画像診断サービス	180	181	178	184	186	185	200	205	206	203
給食	105	99	100	99	102	108	106	97	93	99
営業利益	▲11	274	74	102	135	221	▲120	▲59	▲235	732
メディカルトータルソリューション	▲34	253	58	94	117	200	▲147	▲76	▲256	709
遠隔画像診断サービス	20	18	11	6	15	15	21	15	23	18
給食	1	2	4	2	2	5	5	1	▲2	4
調整	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0
粗利率	11.5%	12.7%	13.3%	7.3%	13.9%	12.3%	13.7%	13.5%	11.1%	13.4%



粗利益率の推移

- 2Qの粗利益率は大型の新增改築案件計上により再上昇。2023/9期後半以降、概して13%超の粗利益率をコンスタントに計上できており、利益率重視の営業方針は着実に浸透している。付加価値の最大化に向けて注力を継続
- なお、3Qは再び大型案件減少となるものの、粗利益率は高水準を維持する見通し

全社粗利益率の推移

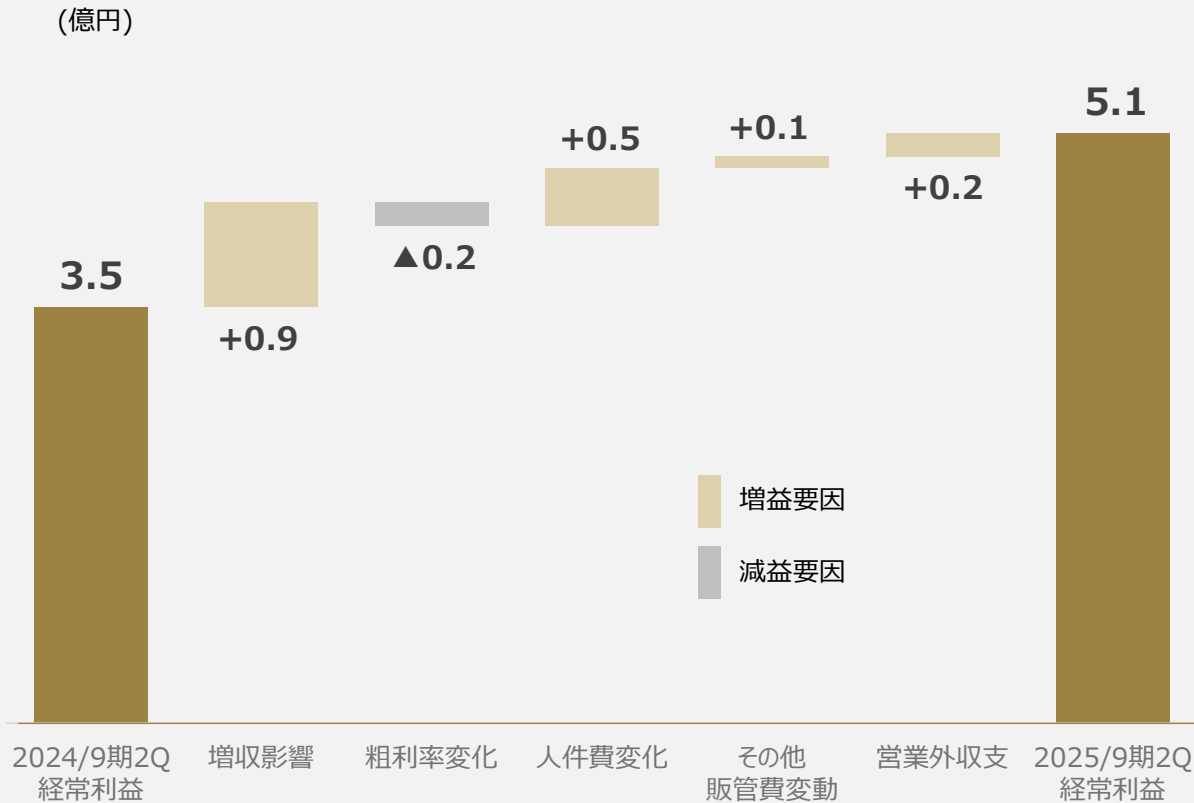




2025年9月期2Q 経常利益増減益要因分析

- 2Q累計の経常利益は対前年比で1.6億円の増加。増益の牽引役は大型案件の計上があったメディカルトータルソリューション事業の増収。粗利益率は若干の減益要因となったものの、これまでの採算改善基調に変化はないと認識
- コスト面では人件費や営業費用などが減少。営業活動は活発に展開するものの、効率化を推進

経常利益増減益分析



- 増収影響 +0.9億円
 - ・メディカルトータルソリューション事業における新增改築案件の売上増が影響
- 粗利率変化 ▲0.2億円
 - ・粗利率は0.2ポイント低下 (13.0%→12.8%)
 - ・採算重視方針に変化はなし
 - ・好採算の大型案件があった前年の比較でも粗利率ほぼ横ばい維持は、全体として採算水準引上げが浸透と認識
- 人件費変化 +0.5億円
- その他販管費変動 +0.1億円
 - ・業務委託費他 +0.1億円
- 営業外収支 +0.2億円

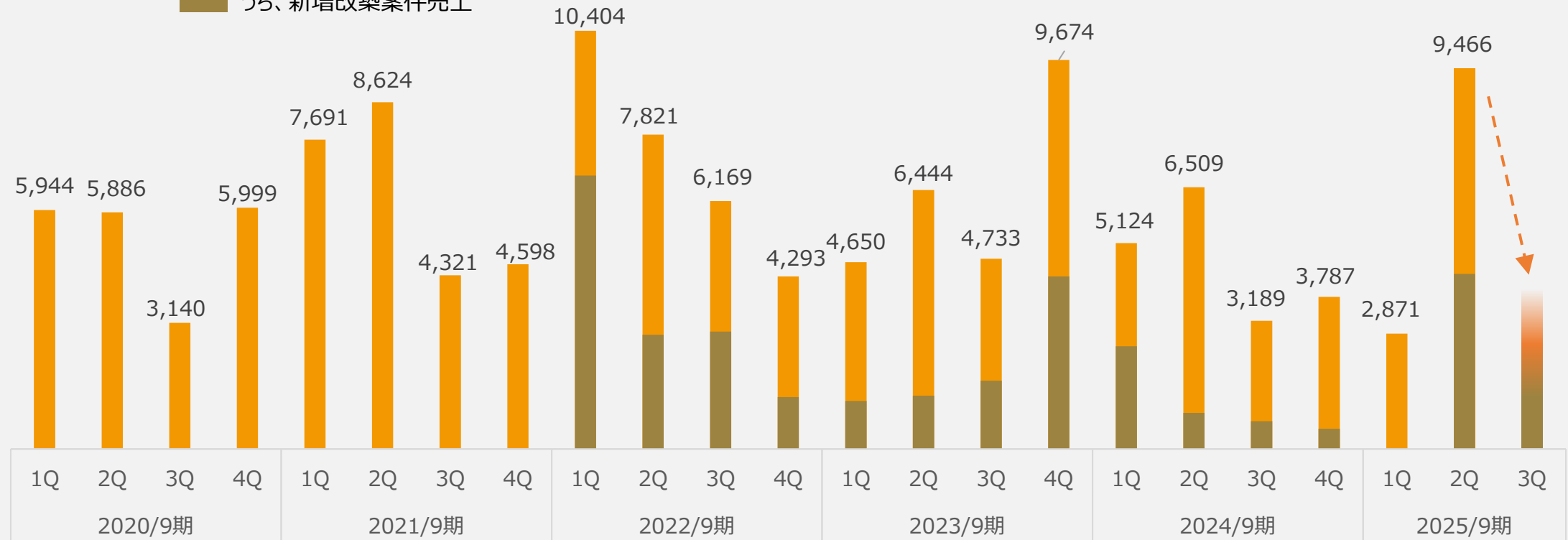


メディカルトータルソリューション事業売上推移

- 主力のメディカルトータルソリューション事業の2Q売上は高水準を達成。これは大型案件を含む多くの新增改築案件の計上が重なったことが背景。当2Qが今期では最大の売上となる見通し
- なお、3Qは大型案件の減少などから売上は2Q比で減少を見込む

メディカルトータルソリューション事業売上推移

(百万円) ■ メディカルトータルソリューション事業売上
■ うち、新增改築案件売上



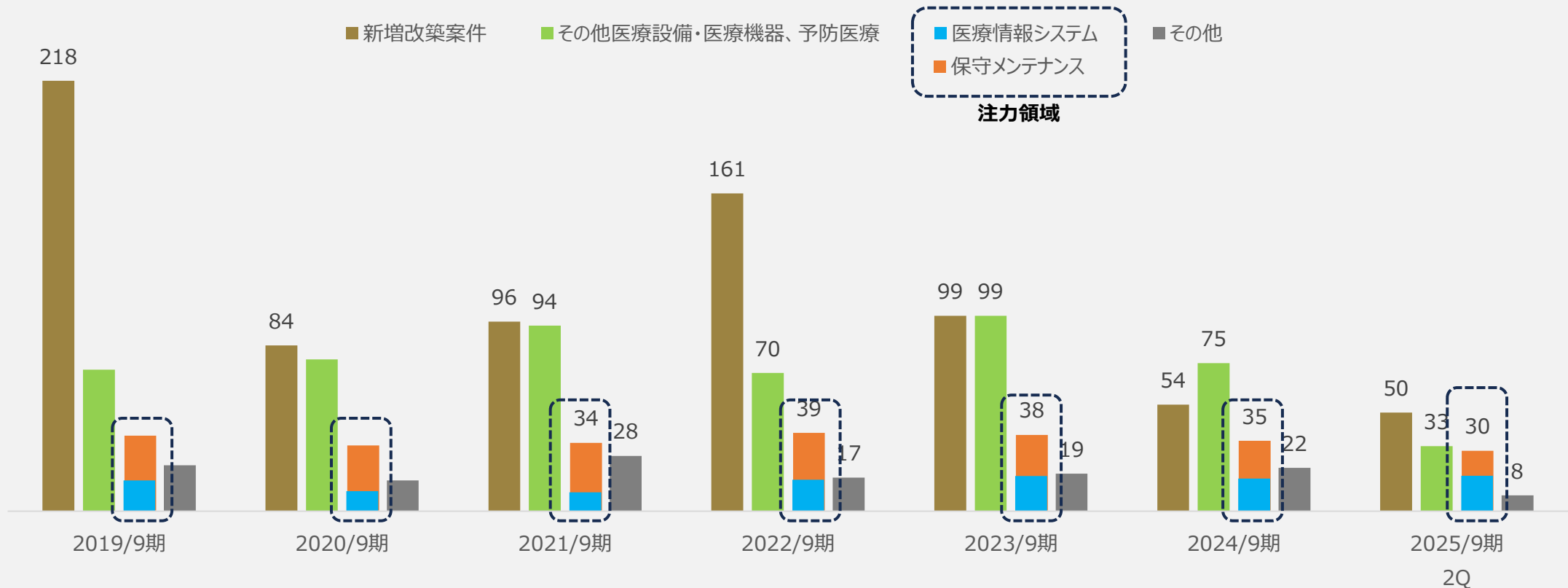
注) 2021/9期以前の新增改築案件売上は非開示



メディカルトータルソリューション事業 売上内訳推移

- 2Q累計のメディカルトータルソリューション事業は、大型案件の計上があった新增改築案件が最大の売上領域に
- 注力領域である医療情報システム、保守・メンテナンスも伸長し、上期で前年通期の水準に近接

メディカルトータルソリューション事業売上内訳





2025年9月期2Q 貸借対照表

- 前期末比で総資産は51%増の161億円。前期末比で総資産は大きく増加したが、これは売上債権・仕入債務が両建てで膨らんだため。大型案件の売上計上に伴う一時的なものであり、売上債権・仕入債務以外の勘定科目で大きな変化はなし
- 総資産拡大に伴い、自己資本比率は36.0%に低下(前期末の自己資本比率は52.3%)。今後債権・債務の解消で従来水準に戻る見通し。なお、期末時点のネットキャッシュは52億円

財政状態の推移

(百万円)	2022/9期	2023/9期	2024/9期	2025/9期 2Q	前期末比差異
流動資産	12,232	13,508	9,583	15,006	+5,423
現預金	5,480	5,537	5,574	5,258	▲316
受取手形・売掛金/契約資産	4,360	7,796	3,821	9,560	+5,739
棚卸資産	24	21	71	28	▲43
その他	2,368	153	118	161	+43
貸倒引当金	▲0	▲1	▲1	▲0	+0
固定資産	1,235	1,185	1,076	1,138	+61
総資産	13,468	14,693	10,659	16,144	+5,485
負債	7,930	8,969	4,918	10,156	+5,238
買掛金	3,960	7,620	3,417	8,665	+5,247
有利子負債	92	2	9	8	▲1
その他	3,876	1,347	1,490	1,482	▲7
純資産	5,537	5,724	5,741	5,988	+246
負債純資産合計	13,468	14,693	10,659	16,144	+5,485



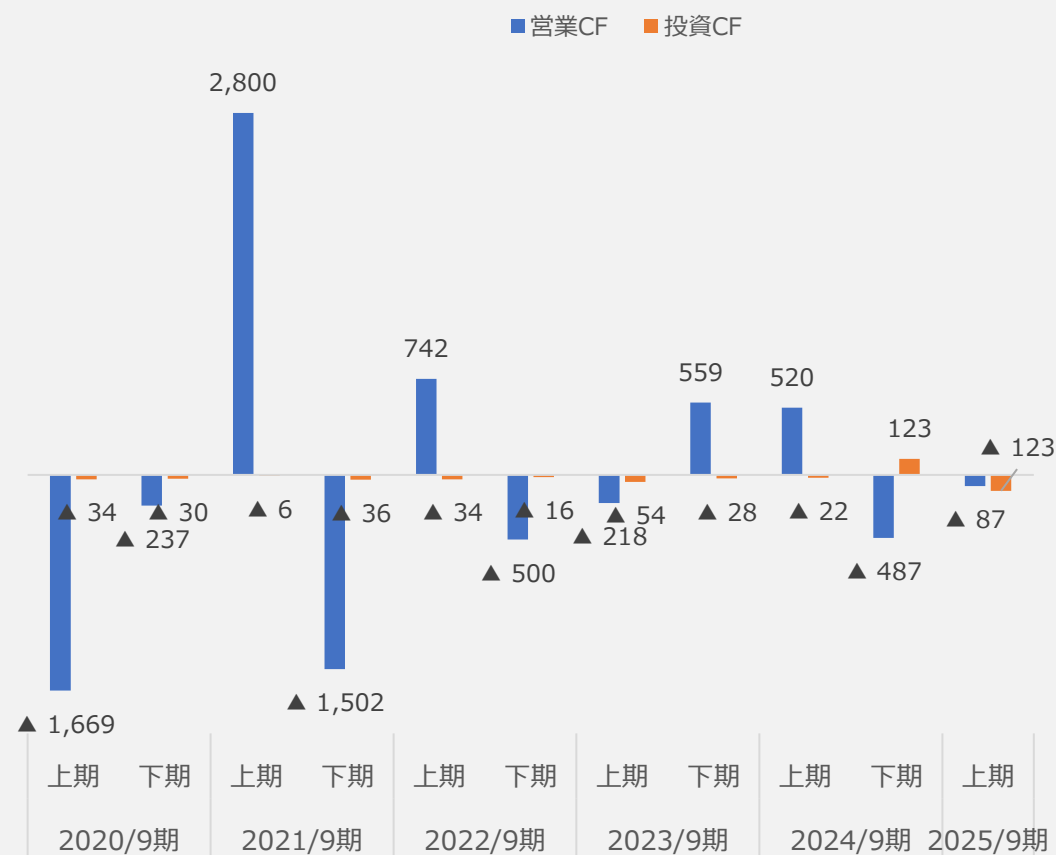
2025年9月期2Q キャッシュフローの状況

- 2025/9期2Q累計のFCFは2.1億円のマイナス。2半期連続のキャッシュアウトに
- 営業CFは運転資金負担が一時的に集中し、マイナスに。投資CFも業務提携など積極的な出資を実行

キャッシュフローの推移

(百万円)	2023/9期	2024/9期	2025/9期 2Q
営業CF	341	33	▲87
税前当期純利益	431	273	513
売上債権/仕入債務増減	223	▲227	▲491
その他	▲313	▲13	▲109
投資CF	▲82	100	▲123
FCF*	259	133	▲210
財務CF	▲202	▲97	▲105
有利子負債の純増減	▲94	▲1	▲1
株式の発行による収入	—	7	0
その他	▲108	▲102	▲104

* FCF=営業CF+投資CF で算出





2

2025年9月期決算見通し



2025年9月期業績見通し

- 2025/9期通期見通しは据置き。営業利益は68%増となり、3期ぶりの営業増益を見込む。ただし、半期別には既に上期で通期利益見通しには到達も、下期は新增改築案件減少から赤字を想定。特に3Qは案件端境期となり、1Qに次いで厳しい四半期に
- セグメント別にはメディカルトータルソリューション事業の下期売上は対上期で減少の見通し。先行指標たるトータルパックシステムの受注件数は増加継続も、売上貢献はまだ先。遠隔画像診断サービスは堅調に推移。給食事業は対上期比増収想定もコスト増が影響

経営成績の推移

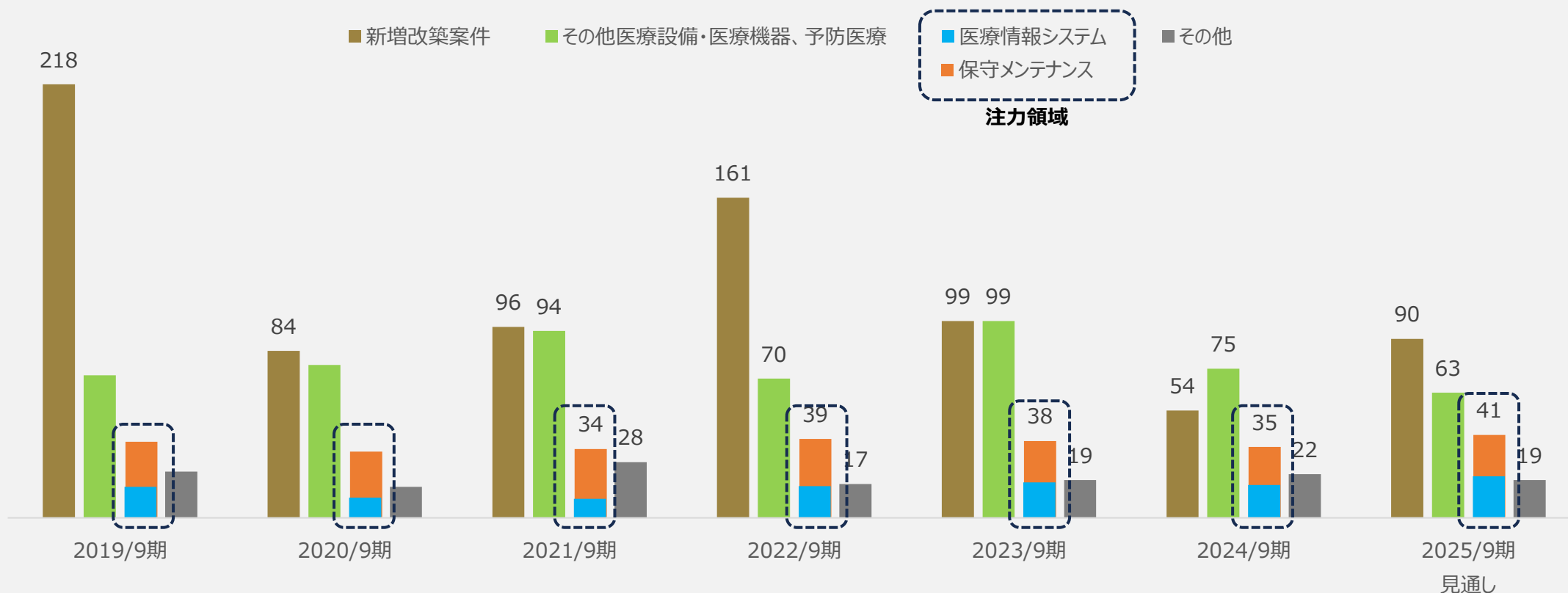
(百万円)	2022/9期 実績	2023/9期 実績	2024/9期 実績	2025/9期			前年比 増減率
				上期実績	下期見通し	通期見通し	
売上高	29,767	26,632	19,804	12,940	9,559	22,500	+13.6%
メディカルトータルソリューション	28,688	25,502	18,610	12,337	8,973	21,309	+14.5%
遠隔画像診断サービス	676	724	777	409	372	782	+0.6%
給食	402	404	415	193	215	408	▲1.8%
営業利益	650	440	178	496	▲196	300	+68.4%
メディカルトータルソリューション	574	371	94	452	▲220	232	+145.6%
遠隔画像診断サービス	66	55	66	41	24	65	▲1.8%
給食	6	10	14	1	▲1	0	▲97.0%
調整	2	2	2	1	2	3	▲34.3%
経常利益	709	431	181	513	▲213	300	+65.6%
親会社株主に帰属する当期純利益	437	271	136	344	▲150	194	+17.6%



メディカルトータルソリューション事業 売上内訳推移

- メディカルトータルソリューション事業の売上内訳想定も従来想定据置き。新增改築案件の売上貢献が最大となる見通し
- 注力領域である医療情報システム、保守・メンテナンスについては、一括保守の拡販や修理機能拡充など成長に向けての布石を継続

メディカルトータルソリューション事業売上内訳





新增改築案件 予想前提

- 2025/9期の新增改築案件の売上想定に変更なし。年間で90億円を想定し、前期比66%増収となる見通し
- うち、2Qまでで新增改築案件売上は年間想定6割弱を消化。これらは期初からの計画通り。下期は対上期では減少を想定

メディカルトータルソリューション事業における病院新增改築案件向け医療機器一括販売の推移

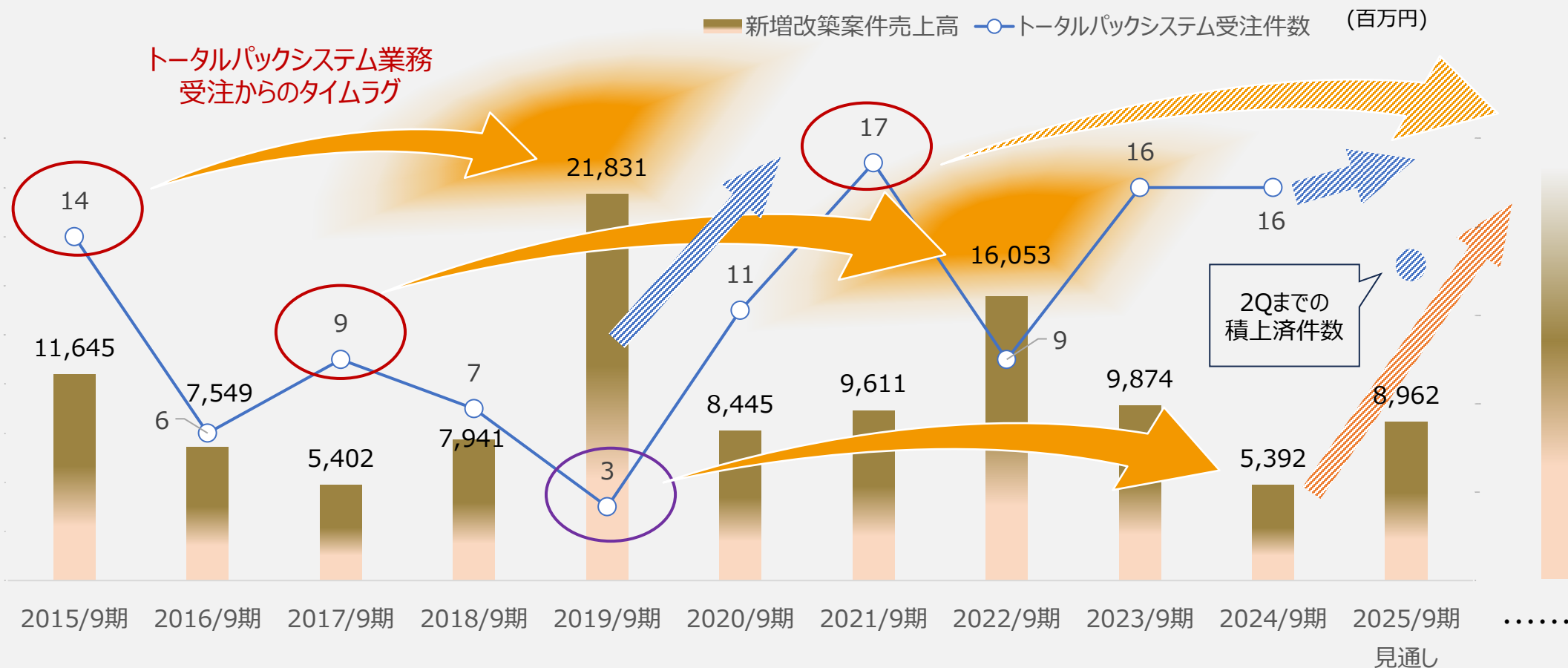
(百万円)		2022/9期	2023/9期	2024/9期	2025/9期		前期対比
					2Q実績	通期見通し	
20億円以上	売上高	9,877	2,296	2,942	3,768	6,080	+3,137
	件数	3	1	1	1	2	+1
	平均単価	3,292	2,296	2,942	3,768	3,040	+97
10億円以上	売上高	3,995	3,594	-	0	-	-
	件数	3	3	-	0	-	-
	平均単価	1,332	1,198	-	-	-	-
10億円未満	売上高	2,180	3,984	2,449	1,299	2,882	+433
	件数	6	13	10	8	11	+1
	平均単価	363	306	244	162	262	+17
合計	売上高	16,054	9,874	5,392	5,067	8,962	+3,570
	件数	12	17	11	9	13	+2
	平均単価	1,338	580	490	563	689	+199
事業売上に占める一括販売比率		56.0%	38.7%	29.0%	41.1%	42.1%	+13.1pt



新增改築案件の先行指標

- トータルパックシステム受注は数期のタイムラグを経て新增改築案件売上に反映される傾向。この経験則によれば、2020/9期より受注件数が増加に転じており、新增改築案件の売上も2025/9期以降は再拡大局面を迎えるとの見方が可能。
- 2Q累計のトータルパックシステム受注件数は11件。積み上がりは順調であり、将来の新增改築案件の売上貢献に期待

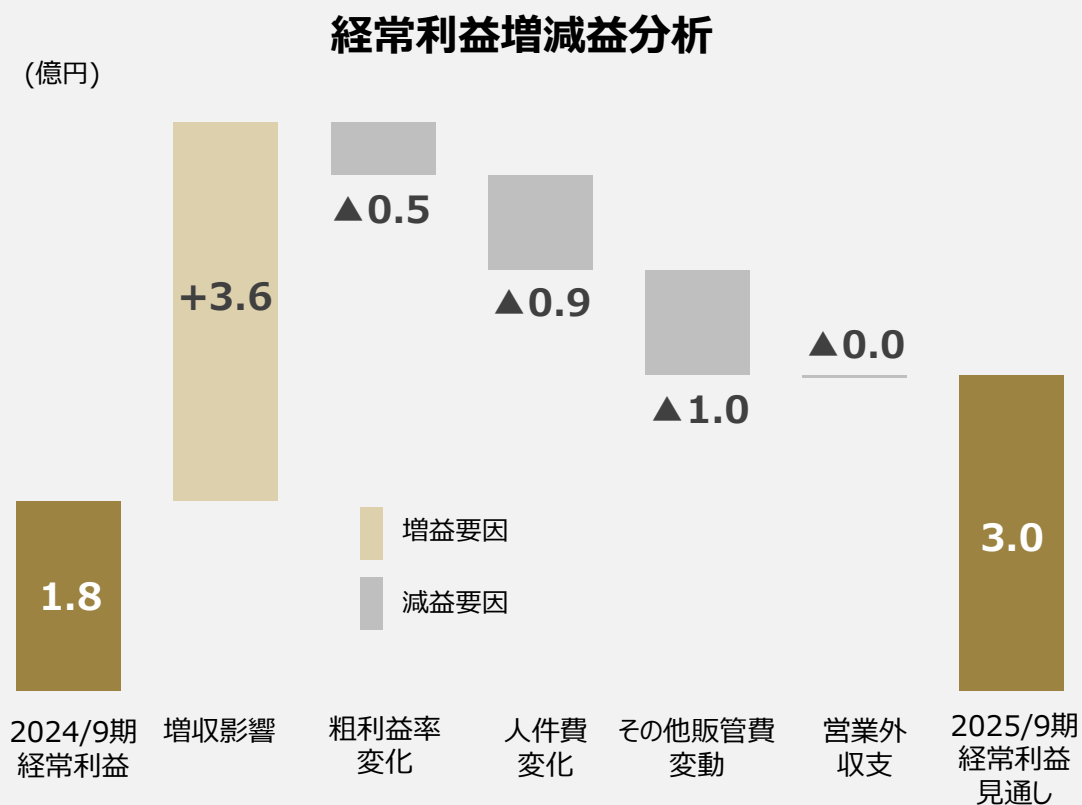
メディカルトータルソリューション事業新增改築案件売上とトータルパックシステム受注件数との関係





2025年9月期想定増減益分析

- 対前年比較大幅増益を牽引するのは増収効果。これにより、人件費増やその他コスト上昇などを吸収する見通し
- なお、想定粗利率は前期比若干低下となる13.0%。現時点で粗利率低下要因は見当たらないが、ここでは保守的な前提を採用
- リスクは厳しい経営環境を背景とした医療機関の投資姿勢

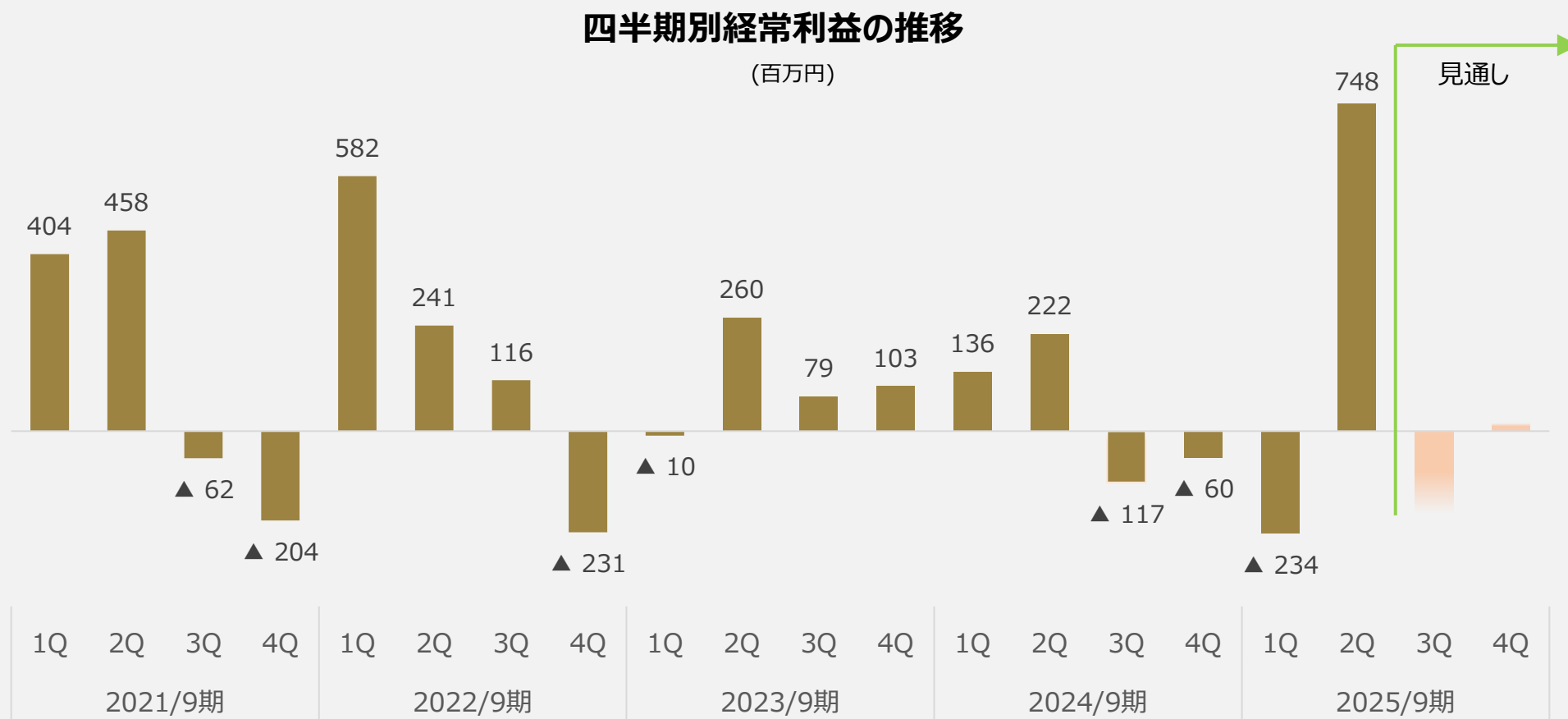


- 増収影響 +3.6億円
 - ・メディカルトータルソリューション事業における新增改築案件の増加
 - ・大型案件増により一件当たり単価上昇を想定
- 粗利率変化 ▲0.5億円
 - ・粗利率は0.1pt低下を想定 (13.1%→13.0%)
- 人件費変化 ▲0.9億円
- その他販管費変動 ▲1.0億円
- 営業外収支 ▲0.0億円



2025年9月期四半期別経常利益想定

- 2025/9期下期は再び厳しい局面に。2Qが最も利益寄与の大きな四半期となる見通し
- 下期を3Qと4Qで分けて考えると、売上端境期となる3Qがより厳しいと想定





3

トピックス

- 1 介護施設等経営支援企業に出資**
- 2 出資・提携に対する当社の基本的方針**
- 3 資本コストや株価を意識した経営（アップデート）**



トピックス1：介護施設等経営支援企業に出資



介護施設等の経営支援業務を実施する株式会社TUホームケアに25%出資
(2025年3月出資完了)

- 出資目的： 病院経営テコ入れの一手段である介護施設などの経営支援チャネルの獲得
- 出資効果： **✓ 介護施設などの経営支援を通じた病院経営テコ入れに伴って生じる医療機器の納入機会、一括保守機会、中古機器下取り機会等の獲得**
✓ 地方パートナー企業を巻き込んだ介護施設経営からの利益獲得
- 損益影響： 持分法適用関連会社となるも、当面のインパクトは軽微



株式会社TUホームケア

所在地：北海道札幌市中央区南二条西6丁目17

会社設立：2023年5月

業務内容：介護施設等の経営支援
介護人材の出向派遣、介護施設運営



トピックス2：出資・提携に対する当社の基本的方針



株式会社 **レオクラン**

出資・提携は基本的に中核事業にビジネス
機会拡大をもたらす領域がターゲット

従来からのサービスラインナップ

病院開院
運営
サポート

一括保守

医療機器
コンサル
ティング

**メディカルトータル
ソリューション事業**

医療機器販売
医療情報システム導入
病院新增改築サポート
予防医療対応
地域包括ケア対応サポート

事業提携 (2025/2~)



機器修理

中古機器
買取

事業提携 (2025/2~)



さらなる
提携・出資

出資 (2025/3~)



介護施設
経営テコ
入れ

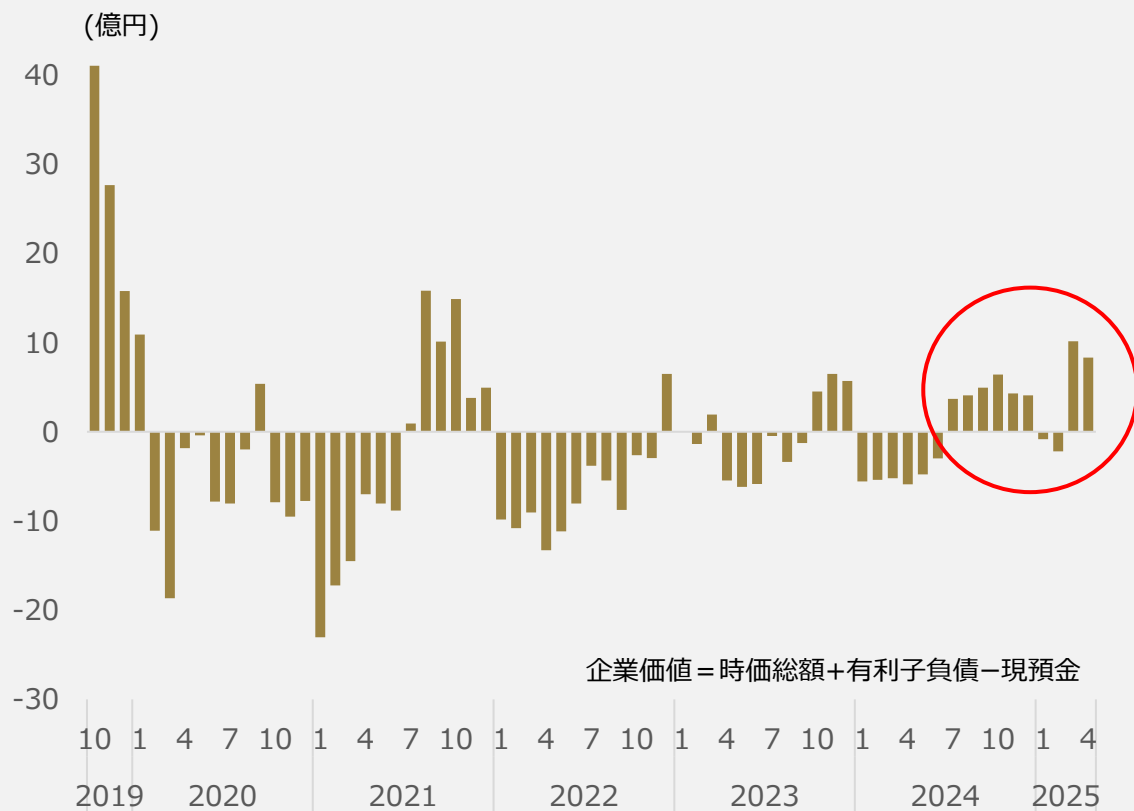
病院経営
テコ入れ



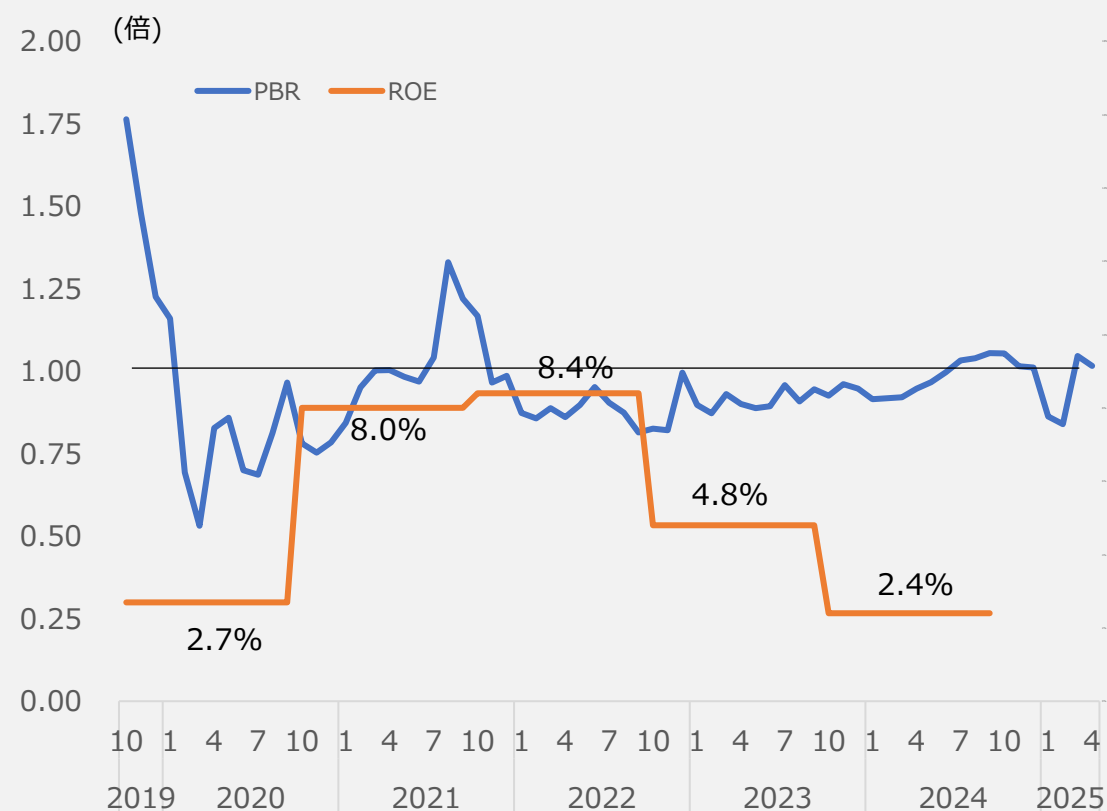
トピックス3：資本コストや株価を意識した経営（アップデート）

- ボラティリティはあるものの、直近は安定的に企業価値は黒字を計上。積極的な成長投資のアクションが市場に認知されてきたと期待
- PBRも1倍超となる局面が増加。引続き、ROE改善に向けての成長戦略発信を強化し、キャッシュの積極活用に向けて戦略的な動きを加速

企業価値の推移



PBRとROEの推移





業績・財務ハイライト

決算年月		2020年9月	2021年9月期	2022年9月期	2023年9月期	2024年9月期	2025年9月期 2Q
売上高	(千円)	21,996,890	26,347,156	29,767,431	26,632,145	19,804,248	12,940,317
経常利益	(千円)	207,244	595,939	709,660	431,662	181,146	513,837
親会社株主に帰属する当期純利益	(千円)	120,839	390,983	437,051	271,306	136,057	344,286
包括利益	(千円)	141,111	427,266	462,709	294,367	112,733	350,933
資本金	(千円)	536,169	539,369	539,369	539,369	542,869	542,969
発行済株式総数(自己株式を含む)	(株)	1,954,400	1,960,800	1,960,800	1,960,800	1,967,800	5,904,000
純資産額	(千円)	4,817,569	5,159,691	5,537,971	5,724,103	5,741,300	5,988,048
総資産額	(千円)	13,414,303	12,964,840	13,468,183	14,693,938	10,659,647	16,144,747
1株当たり純資産額*	(円)	802.93	855.78	915.42	946.33	943.51	984.27
1株当たり配当額	(円)	45.0	40.0	50.0	50.0	50.0	-
1株当たり当期純利益*	(円)	20.84	66.64	74.30	46.12	23.09	58.32
潜在株式調整後1株当たり 当期純利益*	(円)	20.62	66.11	73.84	45.84	22.96	58.08
自己資本比率	(%)	35.1	38.8	40.0	37.9	52.3	36.0
自己資本利益率	(%)	2.7	8.0	8.4	4.8	2.4	6.1
配当性向	(%)	72.0	20.0	22.4	36.1	72.2	-
営業活動によるキャッシュ・フロー	(千円)	▲1,906,273	1,298,076	242,357	341,555	33,083	▲87,249
投資活動によるキャッシュ・フロー	(千円)	▲63,598	▲42,129	▲49,958	▲82,011	100,752	▲123,328
財務活動によるキャッシュ・フロー	(千円)	238,372	▲298,007	▲120,931	▲202,311	▲97,225	▲105,444
現金及び現金同等物の期末残高	(千円)	4,430,782	5,388,721	5,460,189	5,517,421	5,554,031	5,238,009
従業員数	(人)	157	162	175	176	170	159
(外、平均臨時雇用者数)	(人)	(54)	(58)	(62)	(62)	(62)	(58)

*2024年10月1日付株式分割(1:3)の影響考慮後



ご留意事項

当資料は、当社の現状をご理解いただくことを目的として作成したものであり、投資勧誘を目的としたものではありません。当資料に記載されている内容は、当資料発表日現在において当社が入手している情報及び合理的であると判断される一定の前提に基づく計画、期待、判断を根拠としております。したがって、実際の業績等は、経済情勢等様々な不確定要素の変動によって、記載の業績予想等と異なる結果になる可能性があります。実際に投資を行う際のご決定は、必ず投資家ご自身の判断に基づきなされるようお願いいたします。

株式会社レオクラン
経営企画室 IR担当
TEL : 06-6387-1554
Email : ir-support@leoclan.co.jp